

自動車保険 新サービス「ドライブエージェント パーソナル」の開発 ～テレマティクス技術を活用した先進的なサービスを、個人向けの自動車保険で実現～

東京海上日動火災保険株式会社(社長 北沢 利文、以下「当社」)は、お客様の『いざ』という時にお役に立ち、更なる安心と安全をお届けするため、パイオニア株式会社(社長 小谷 進、以下「パイオニア」)と共同で当社オリジナルの通信機能付きドライブレコーダーを活用した、個人のお客様向けの新サービス『ドライブエージェント パーソナル』を開発しました。

1. 開発の背景

ドライブレコーダーは、これまで事業用途での活用が主でしたが、ここ数年での高性能化・低価格化に伴い、一般ドライバーにも普及が進んでいる状況を踏まえ、損害保険事業を通じて社会的意義の高いサービスを実現すべく、国内大手損保で初めて個人のお客様向けにドライブレコーダーを活用したサービスを開発し、自動車保険の特約としてご提供することにいたしました。

これにより、自動車保険のお手続きと同時にサービスのご提供が可能になり、分かりやすさや利便性を実現すると共に、テレマティクス技術を活用した本サービスのご提供を通じて、お客様の更なる安心・安全なカーライフの実現に貢献いたします。

2. 個人向けサービス『ドライブエージェント パーソナル』の概要

『ドライブエージェント パーソナル』では、ドライブレコーダーで記録される事故映像を活用した相手との示談交渉のみならず、最も不安に感じる事故発生時の対応をサポートするため、強い衝撃を検知した場合の自動通報による事故受付や映像の自動送信など、お客様の『いざ』という時にご安心いただけるサービスをご提供するとともに、状況に応じて提携企業(*)を通じた消防等への連絡を行います。

(*)都道府県公安委員会より警備業法4条(同法2条1項4号)の警備業の認定を受けた企業

また、パイオニアが有する最新のテクノロジーを活用し、お客様毎の運転状況に応じたリアルタイムの事故防止支援機能を通じて、安全なドライブを支援いたします。

(1) 当社オリジナルドライブレコーダーの特長

<ドライブレコーダーのイメージ>



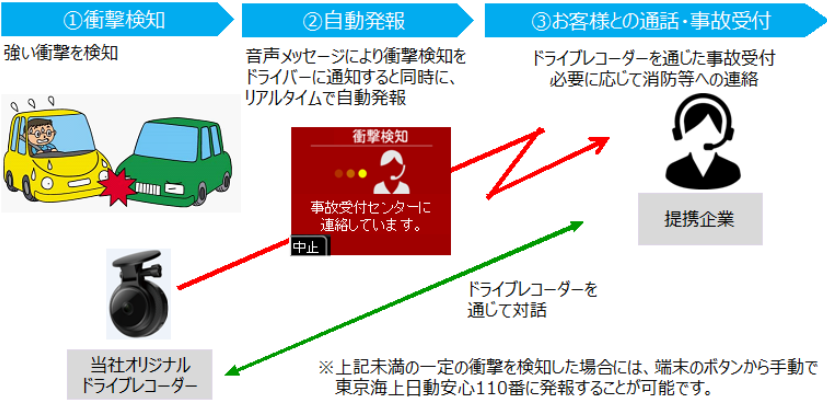

(表面)

(裏面)

<仕様>

サイズ	直径約72mm、厚さ約40mm(本体のみ)
センサー	加速度センサー
位置測位	GPS / グロナス* *人工衛星を利用した衛星測位システム
カメラ	フルHD(1920×1080サイズ)による映像記録
画面	2インチディスプレイ
通信機能	・LTE通信機能* ・通信機能による音声通話機能 *携帯通信規格を指すLong Term Evolutionの略称

(2) 主なサービス内容

	内容
<p>① 高度な事故対応サービス</p>	<p>・事故映像が自動で送信され、当社と事故映像が共有されます。事故の内容によっては、「事故状況」に関するお客様のご説明の負担を軽減するとともに、解決に向けて送信された映像を活用いたします。</p> <p>・強い衝撃を検知した場合、提携企業に自動で連絡が行われ（自動発報）、ドライブレコーダーを通じて通話を行うことができます。これにより、事故発生直後のお客様のご不安を解消します。</p> <p>・状況に応じて、提携企業が消防等への連絡を行います。</p> <p><イメージ></p>  <p>① 衝撃検知 強い衝撃を検知</p> <p>② 自動発報 音声メッセージにより衝撃検知をドライバーに通知すると同時に、リアルタイムで自動発報</p> <p>③ お客様との通話・事故受付 ドライブレコーダーを通じた事故受付必要に応じて消防等への連絡</p> <p>当社オリジナルドライブレコーダー</p> <p>提携企業</p> <p>※上記未満の一定の衝撃を検知した場合には、端末のボタンから手動で東京海上日動安心110番に発報することが可能です。</p>
<p>② 安全運転診断サービス</p>	<p>膨大な保険事故データに基づく当社独自のアルゴリズムにより、お客様ごとの危険運転傾向(急アクセル・急ブレーキ・急ハンドル)等をもとに作成した「安全運転診断レポート」をご提供します。</p> <p>※2017年12月以降に満期日もしくは始期応当日を迎える契約が対象</p>
<p>③ 事故防止支援サービス</p>	<p>・パイオニアがデジタル地図を活用して構築した「事故リスク予測プラットフォーム」に基づき、運転時の外部環境(天候・時間帯)およびお客様の運転状況(走行速度・危険運転傾向)をもとに危険地点を予測し、お車が接近した場合に音声メッセージ等によりリアルタイムに注意喚起を行います。</p> <p><イメージ></p>  <p>事故リスク予測プラットフォーム</p> <p>天候や時間帯のほか、信号の有無やカーブも考慮し、事故削減に効果の高い事故リスク地点を優先的に配信</p> <p>およそ200m先、出会い頭事故多発交差点です。速度を落としましょう。</p> <p>ドライバーの状況に合わせて注意喚起</p> <p>・片寄り走行や車線逸脱を起こした場合、および危険運転(急ブレーキや急発進、急ハンドル)を検知した場合に、端末から音声メッセージ等によりドライバーに注意喚起を行います。</p>

(3) サービス対象、特約保険料

当社のトータルアシスト自動車保険ならびにトータルアシスト超保険にご加入のお客様を対象として(対象自動車は自家用普通・小型乗用車、自家用軽四輪乗用車)、本サービス専用の特約を付帯された方にドライブレコーダーを貸与し、サービスをご提供します。

特約保険料は月額 650 円です(保険期間1年、分割払の場合)。

(4) サービス提供開始時期

2017 年 4 月 1 日以降始期契約を対象としてご提供します。

3. 今後の展開について

本サービスで使用する当社オリジナルドライブレコーダーは、常時ネットワーク(NTTドコモ LTE 回線)に接続することで、内蔵するアプリケーションを自動でアップデートできる機能を設けており、新しいサービスを順次拡充していく予定です。例えば、事故防止支援サービスとして、「前方車両の接近を検知した場合に、音声メッセージ等による注意喚起を行う機能」を 2017 年 10 月頃にリリースする予定です。

また、テレマティクスは更なる技術進展が見込まれる領域であり、当社は最先端の技術の研究を通じて、お客様の『いざ』を支える、より高度な事故対応サービスや事故削減サービスの提供等、従来の保険にはない「保険の新しい価値」の提供を目指し、サービス開発を進めてまいります。

以上